



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ
 コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 丹沢 紀一郎 TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	45,672	5.6	1,952	8.3	2,031	6.7	1,188	4.5
29年3月期第2四半期	43,240	6.4	2,129	113.0	2,177	112.7	1,244	288.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,181百万円 (4.1%) 29年3月期第2四半期 1,232百万円 (298.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	62.38	
29年3月期第2四半期	65.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	56,685	38,106	67.2	1,999.66
29年3月期	57,146	37,172	65.0	1,950.65

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 38,106百万円 29年3月期 37,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		13.00	26.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	5.0	4,100	15.1	4,150	18.0	2,250	20.7	118.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	19,063,968 株	29年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	7,248 株	29年3月期	7,216 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,056,742 株	29年3月期2Q	19,056,884 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いています。外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態であるとんかつ業態を中心に新店し、とんかつ業態17店舗、牛めし業態10店舗、その他業態6店舗(国内4店舗、海外2店舗)の合計33店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店3店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,110店舗(うちFC6店舗、海外9店舗)となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態950店舗、とんかつ業態134店舗、鮪業態6店舗、その他の業態20店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、11店舗の改装(全面改装3店舗、一部改装8店舗)を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、『カルビ焼肉定食、キムカル井増量キャンペーン』、大創業祭として『プレミアム牛めし50円引きキャンペーン』『カルビ焼肉定食500円キャンペーン』、物販販売として『黒胡麻焙煎七味』『牛めし味ふりかけ』、事前メニューQRコード発行システムとして『松券セレクト』等を実施いたしました。また、新商品として「豚バラにんにく味噌定食」「選べる4種のチーズハンバーグ定食」「鶏の甘辛味噌定食」「ごろごろ煮込みチキンカレー」「厚切りポークソテー定食」「山形だしとろろプレミアム(小)牛皿セット」「うまトマハンバーグ定食」「肉野菜の鉄板焼き定食」「粗挽き肉と茄子の麻婆カレー定食」「鶏のバター醤油炒め定食」「旨辛豚カルビ定食」「テリヤキ月見ハンバーグ定食」、健康志向メニューとして「定食のライスを湯豆腐に変更可能なサービス」「定食のライスをおろし豆腐に変更可能なサービス」等を導入いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比101.6%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比5.6%増の456億72百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の31.4%から32.2%に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の63.7%から63.5%と改善いたしました。この要因は、売上高の増加により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の28.6%から28.1%と改善した一方、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の35.1%から35.4%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているF Lコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の66.5%から67.6%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比8.3%減の19億52百万円、経常利益は前年同期比6.7%減の20億31百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.5%減の11億88百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は566億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億60百万円減少いたしました。このうち、流動資産は131億36百万円となり、現金及び預金が8億53百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ6億92百万円減少いたしました。また、固定資産は435億49百万円となり、建物及び構築物の増加等によって、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は185億78百万円となり、短期借入金等が増加した一方、未払法人税等の減少、長期借入金の返済等によって前連結会計年度末に比べ13億94百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は381億6百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ9億33百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の65.0%から67.2%と向上しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億53百万円減少し、48億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は24億29百万円(前年同期は23億84百万円の収入)となりました。

これは「税金等調整前四半期純利益」19億65百万円や、「減価償却費及びその他の償却費」15億65百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」11億87百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20億88百万円(前年同期は8億73百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」18億92百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」3億円といった資金減少要因があった一方、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入」1億17百万円といった資金増加要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億80百万円(前年同期は19億91百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」16億40百万円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」14億86百万円や、「短期借入金の返済による支出」7億52百万円、「リース債務の返済による支出」3億2百万円、「配当金の支払額」2億47百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,847,134	7,993,230
受取手形及び売掛金	578,694	691,590
商品及び製品	405,027	316,837
原材料及び貯蔵品	2,314,081	2,742,205
繰延税金資産	516,444	452,157
その他	1,167,877	940,345
流動資産合計	13,829,260	13,136,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,150,840	14,593,935
機械装置及び運搬具(純額)	1,179,454	1,148,734
工具、器具及び備品(純額)	1,400,559	1,496,098
リース資産(純額)	2,121,472	1,929,027
土地	9,255,820	9,255,820
建設仮勘定	190,556	130,753
有形固定資産合計	28,298,704	28,554,370
無形固定資産		
ソフトウェア	168,810	196,454
その他	67,980	23,390
無形固定資産合計	236,790	219,845
投資その他の資産		
投資有価証券	66,633	67,815
敷金及び保証金	12,193,250	12,243,573
長期前払費用	468,375	453,255
店舗賃借仮勘定	131,462	138,264
繰延税金資産	958,267	912,633
投資不動産(純額)	606,920	600,882
その他	367,403	369,338
貸倒引当金	△10,718	△10,742
投資その他の資産合計	14,781,596	14,775,021
固定資産合計	43,317,090	43,549,236
資産合計	57,146,350	56,685,602

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,657,666	1,754,946
短期借入金	208,517	1,088,480
1年内返済予定の長期借入金	2,928,664	2,833,186
未払金	3,453,508	3,404,128
リース債務	588,978	607,391
未払法人税等	1,513,571	920,942
賞与引当金	986,702	903,904
役員賞与引当金	—	716
資産除去債務	421	—
その他	1,191,295	1,210,793
流動負債合計	12,529,324	12,724,490
固定負債		
長期借入金	4,184,722	2,793,774
役員退職慰労引当金	581,100	581,100
リース債務	1,702,024	1,475,800
資産除去債務	770,795	805,868
繰延税金負債	11,478	11,227
その他	193,917	186,389
固定負債合計	7,444,037	5,854,160
負債合計	19,973,362	18,578,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	23,626,848	24,567,841
自己株式	△14,493	△14,626
株主資本合計	37,231,432	38,172,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	643
為替換算調整勘定	△58,892	△65,983
その他の包括利益累計額合計	△58,444	△65,339
純資産合計	37,172,987	38,106,951
負債純資産合計	57,146,350	56,685,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	43,240,675	45,672,868
売上原価	13,590,061	14,698,645
売上総利益	29,650,613	30,974,222
販売費及び一般管理費	27,521,154	29,022,105
営業利益	2,129,458	1,952,117
営業外収益		
受取利息	14,500	12,432
受取配当金	1,215	10,422
受取賃貸料	136,555	126,745
その他	82,417	97,038
営業外収益合計	234,687	246,638
営業外費用		
支払利息	46,041	31,735
賃貸費用	118,914	116,885
その他	22,047	18,461
営業外費用合計	187,002	167,082
経常利益	2,177,143	2,031,672
特別利益		
固定資産売却益	685	0
収用補償金	—	3,522
保険解約返戻金	6,907	—
その他	—	914
特別利益合計	7,592	4,436
特別損失		
固定資産除却損	24,933	3,075
店舗閉鎖損失	12,677	12,239
固定資産売却損	15,585	866
減損損失	48,286	51,852
和解金	25,597	1,034
その他	—	1,094
特別損失合計	127,080	70,161
税金等調整前四半期純利益	2,057,656	1,965,947
法人税、住民税及び事業税	694,515	667,632
法人税等調整額	119,042	109,584
法人税等合計	813,557	777,216
四半期純利益	1,244,098	1,188,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,244,098	1,188,730

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,244,098	1,188,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	195
為替換算調整勘定	△11,895	△7,090
その他の包括利益合計	△11,834	△6,895
四半期包括利益	1,232,264	1,181,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,232,264	1,181,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,057,656	1,965,947
減価償却費及びその他の償却費	1,540,702	1,565,204
減損損失	48,286	51,852
賞与引当金の増減額(△は減少)	△76,292	△82,794
受取利息及び受取配当金	△15,715	△22,854
支払利息	46,041	31,735
有形固定資産除売却損益(△は益)	38,676	△506
店舗閉鎖損失	8,555	12,109
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	441,158	356,473
売上債権の増減額(△は増加)	16,151	△113,103
たな卸資産の増減額(△は増加)	△240,157	△347,271
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,166	97,664
未払消費税等の増減額(△は減少)	△87,844	△140,850
その他	△93,174	243,514
小計	3,662,878	3,617,121
法人税等の支払額	△1,278,369	△1,187,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,384,508	2,429,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△1,649,581	△1,892,997
有形固定資産の売却及び収用等による収入	952,570	19,152
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△364,284	△300,283
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	203,533	117,358
利息及び配当金の受取額	1,449	10,616
その他	△17,388	△42,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△873,700	△2,088,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,128,455	1,640,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△752,340
長期借入金の返済による支出	△1,570,524	△1,486,426
リース債務の返済による支出	△274,433	△302,561
自己株式の取得による支出	△203	△133
利息の支払額	△45,617	△31,170
配当金の支払額	△228,683	△247,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,991,006	△1,180,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,997	△14,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△497,196	△853,904
現金及び現金同等物の期首残高	5,787,594	5,655,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,290,397	4,801,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月27日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が247,737千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月27日 定時株主総会	普通株式	247,737	13	平成29年3月31日	平成29年6月28日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。